

施設別心・循環器疾患症例数

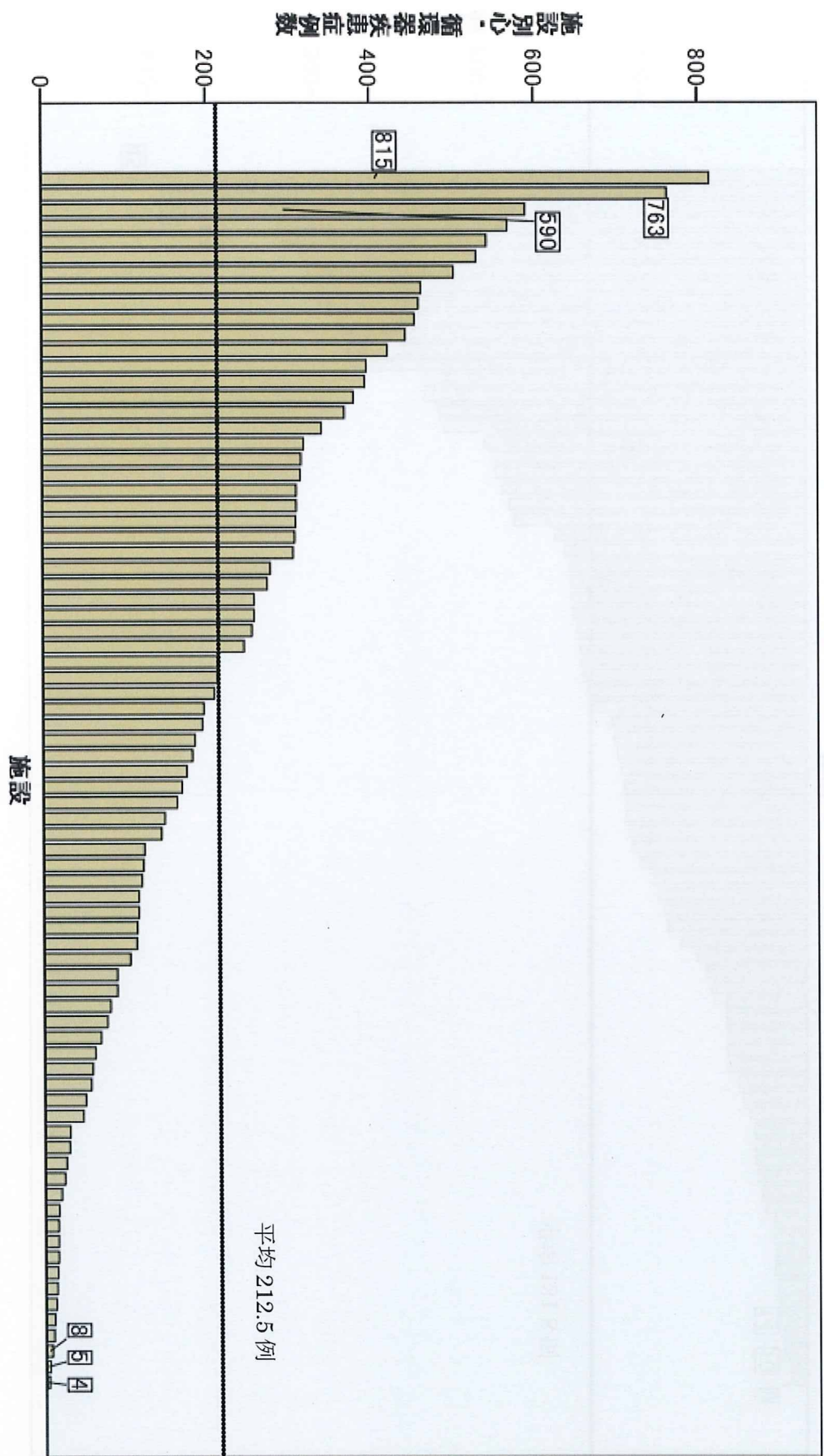


図19

施設別CPA症例数

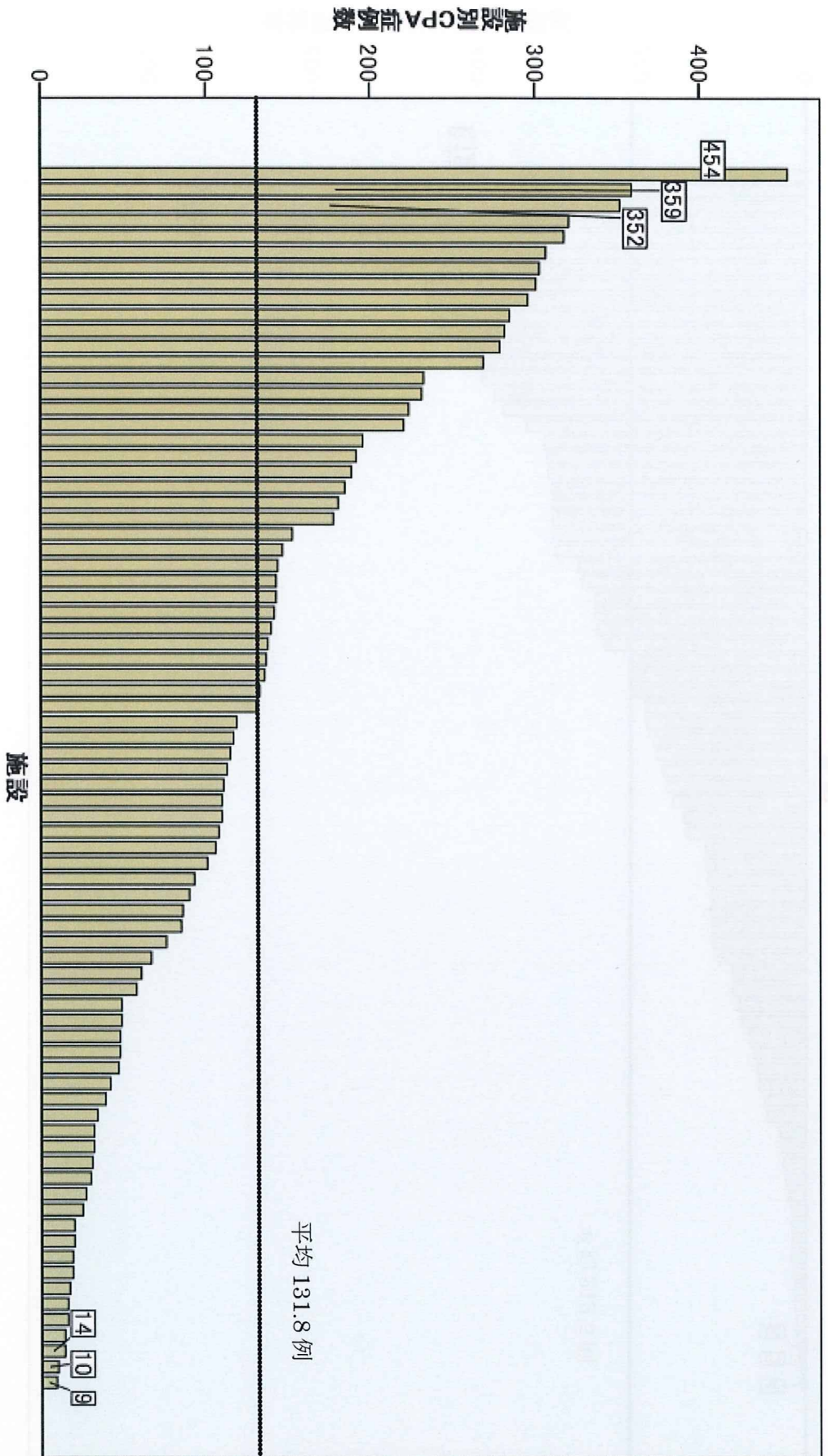


図20

施設別心・循環器疾患症例数

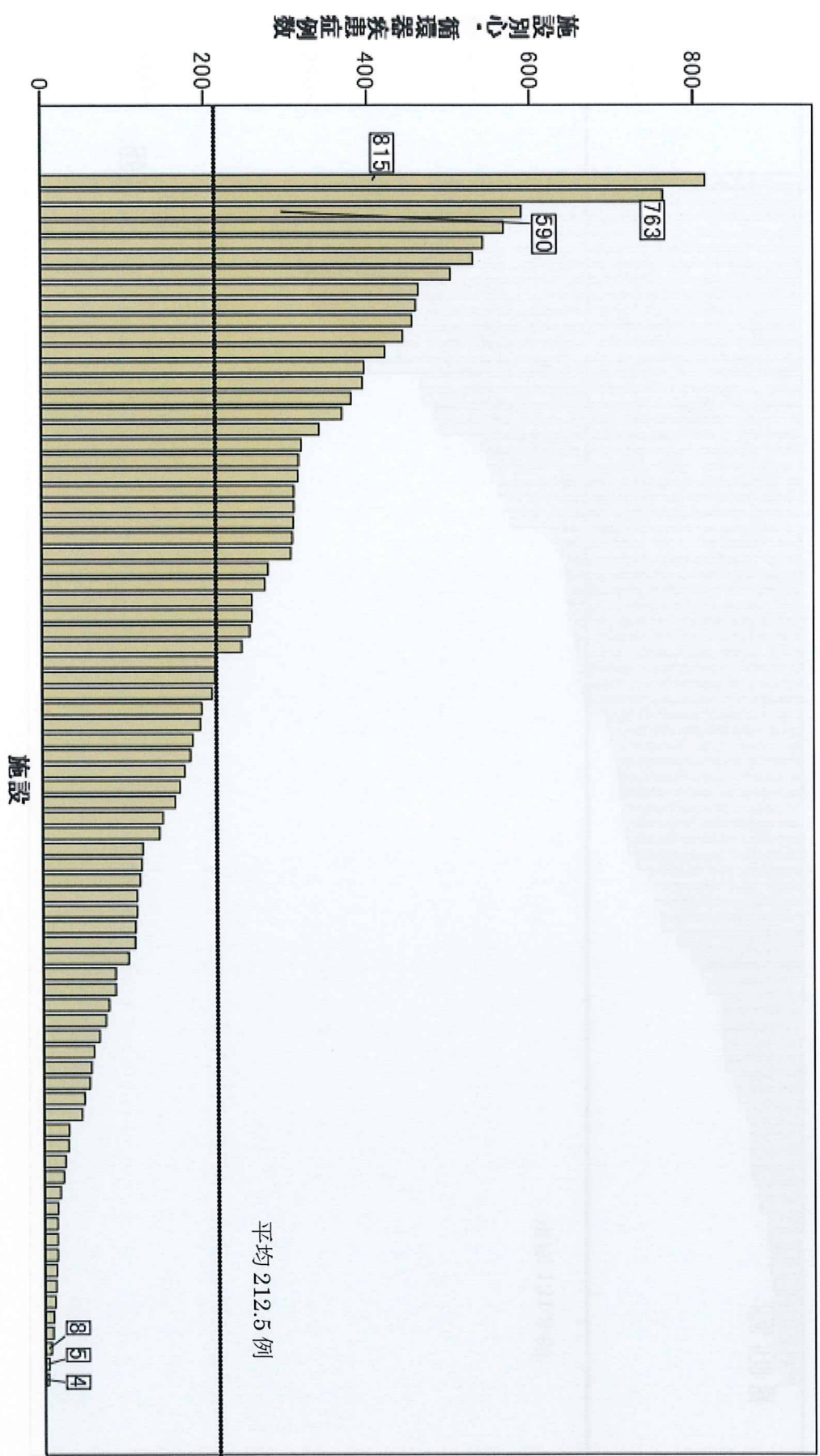


図19

施設別CPA症例数

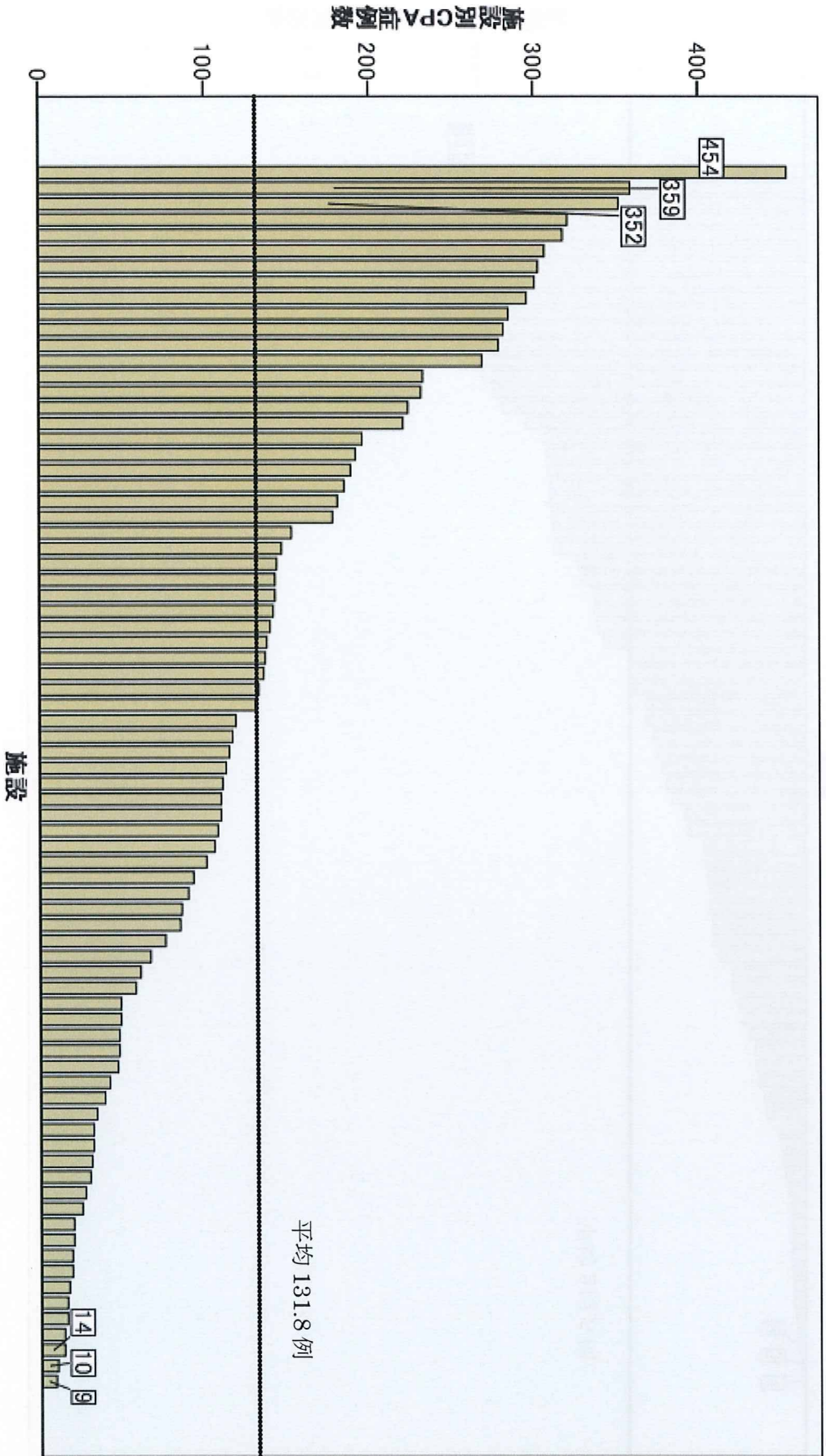


図20

施設別産科疾患症例数

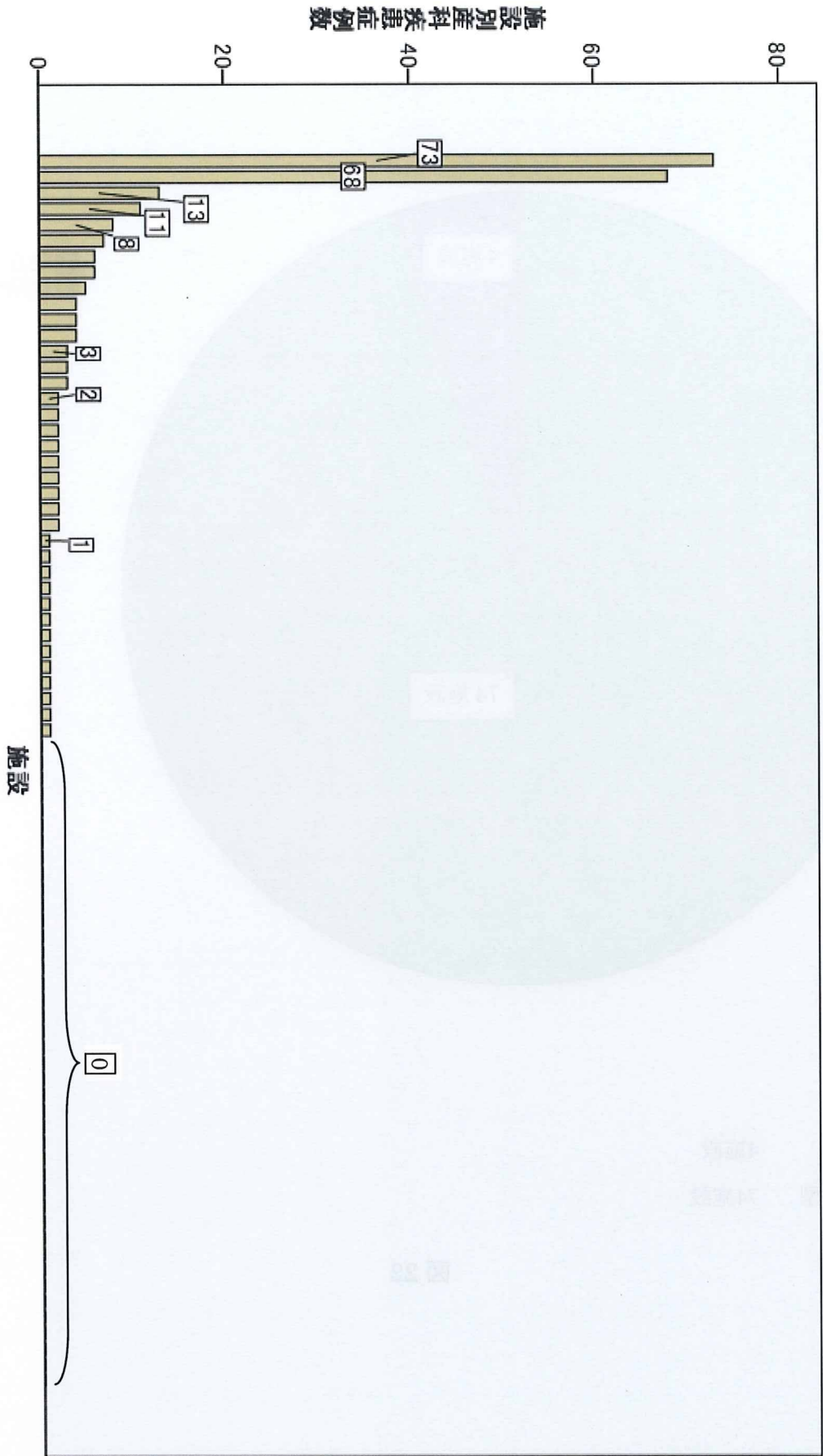
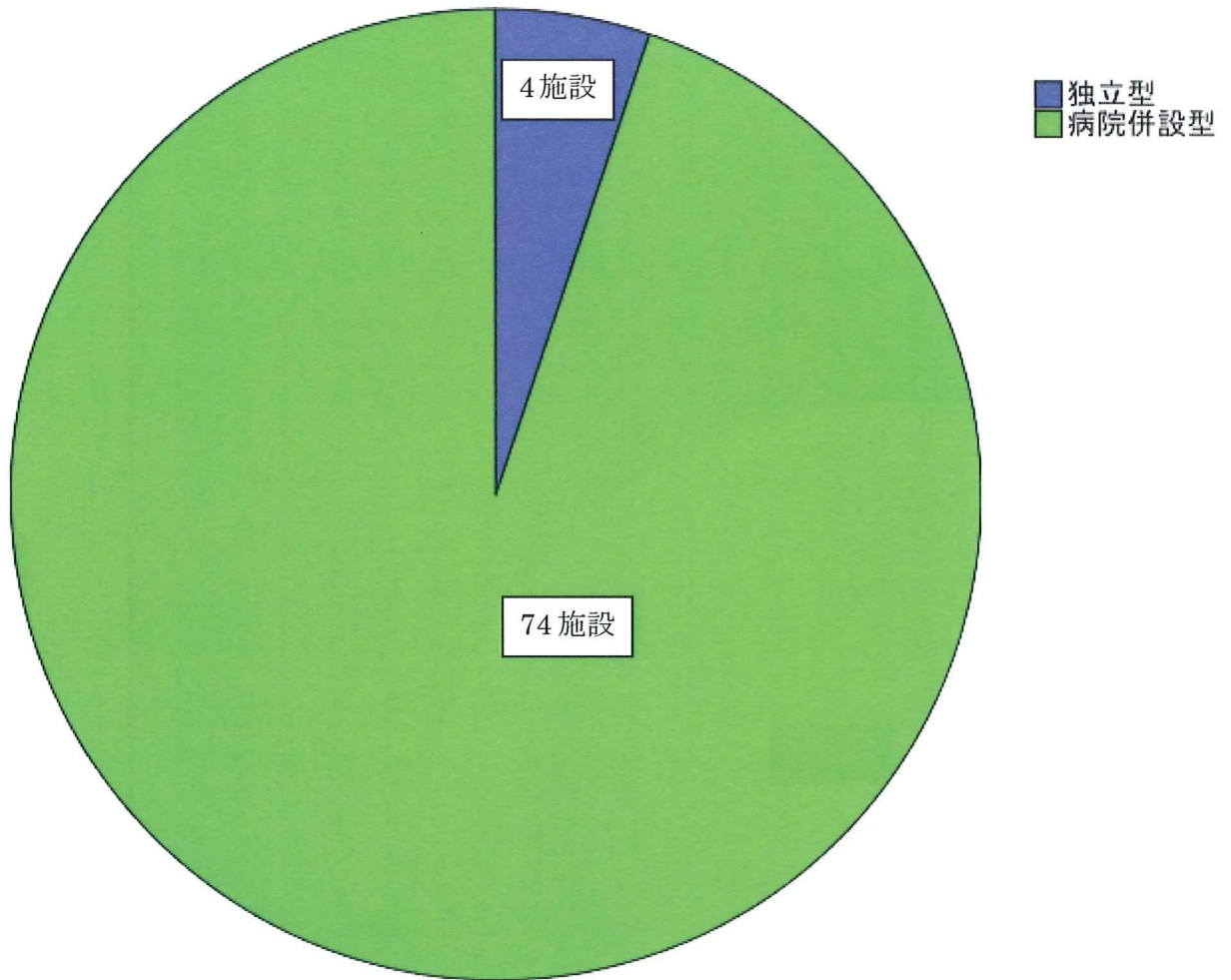


図21

救命救急センター運営形態

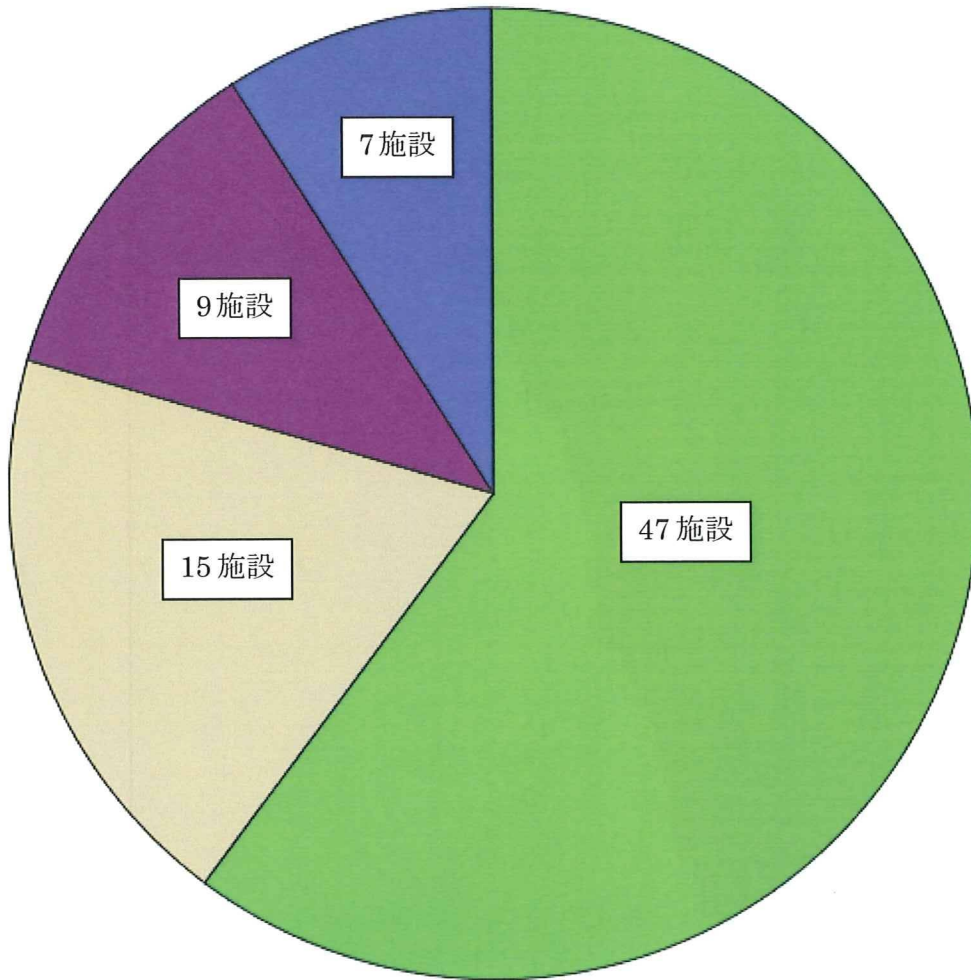


独立型 4施設
病院併設型 74施設

図 22

救命救急センター運用状況

- 外来・入院とも独立した救急部が主として担当
- 外来のみ救急部が主に担当し入院は主に各科が担当
- 外来も入院も主に各科が担当
- その他



外来・入院ともに独立した救急部が主として担当	47 施設
外来のみ救急部が対応、入院は各科が対応	15 施設
外来・入院ともに各科が対応	9 施設
その他・未回答	7 施設

図 23

病院全体の病床数

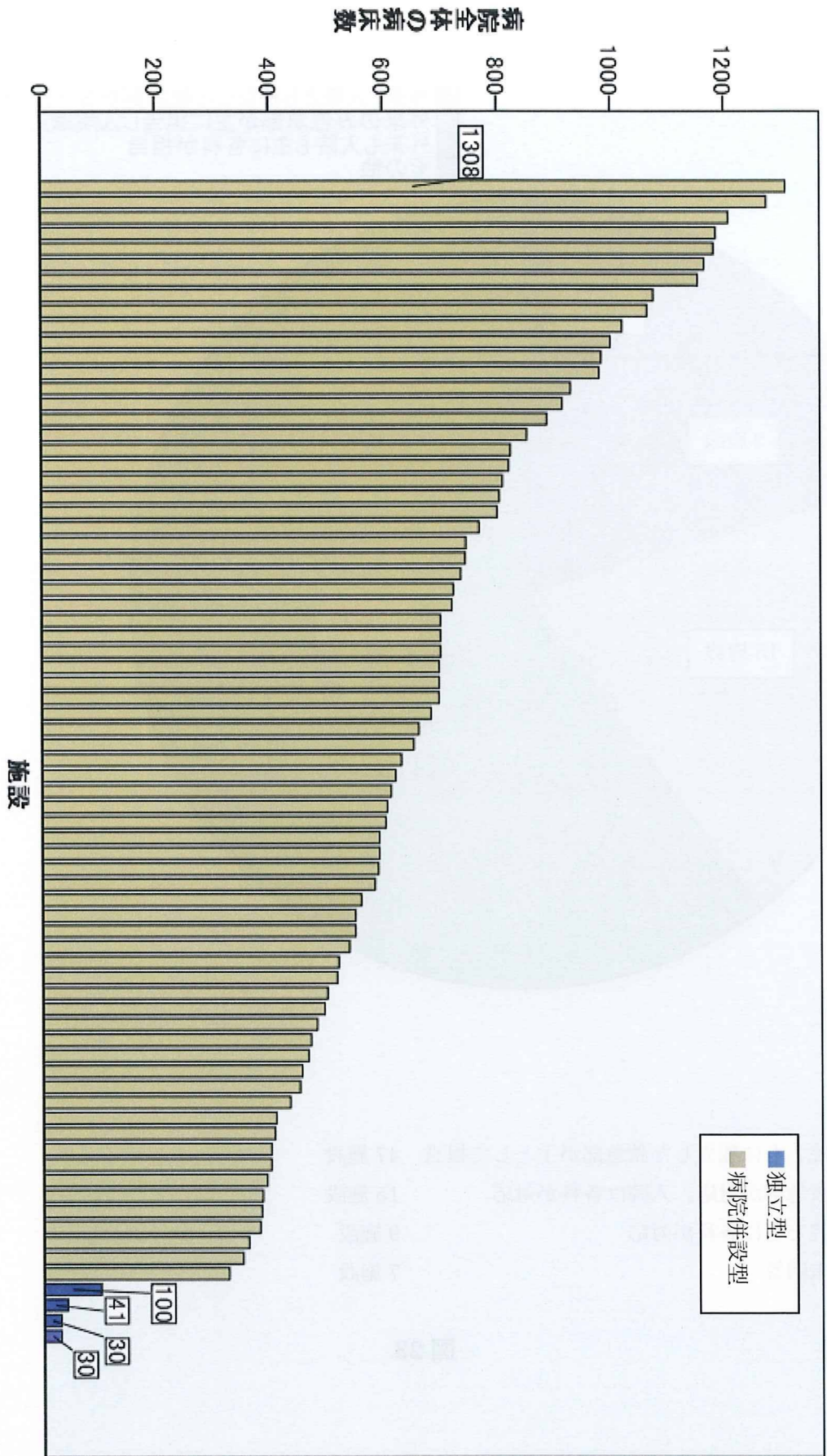


図24

施設別救命救急センター病床数

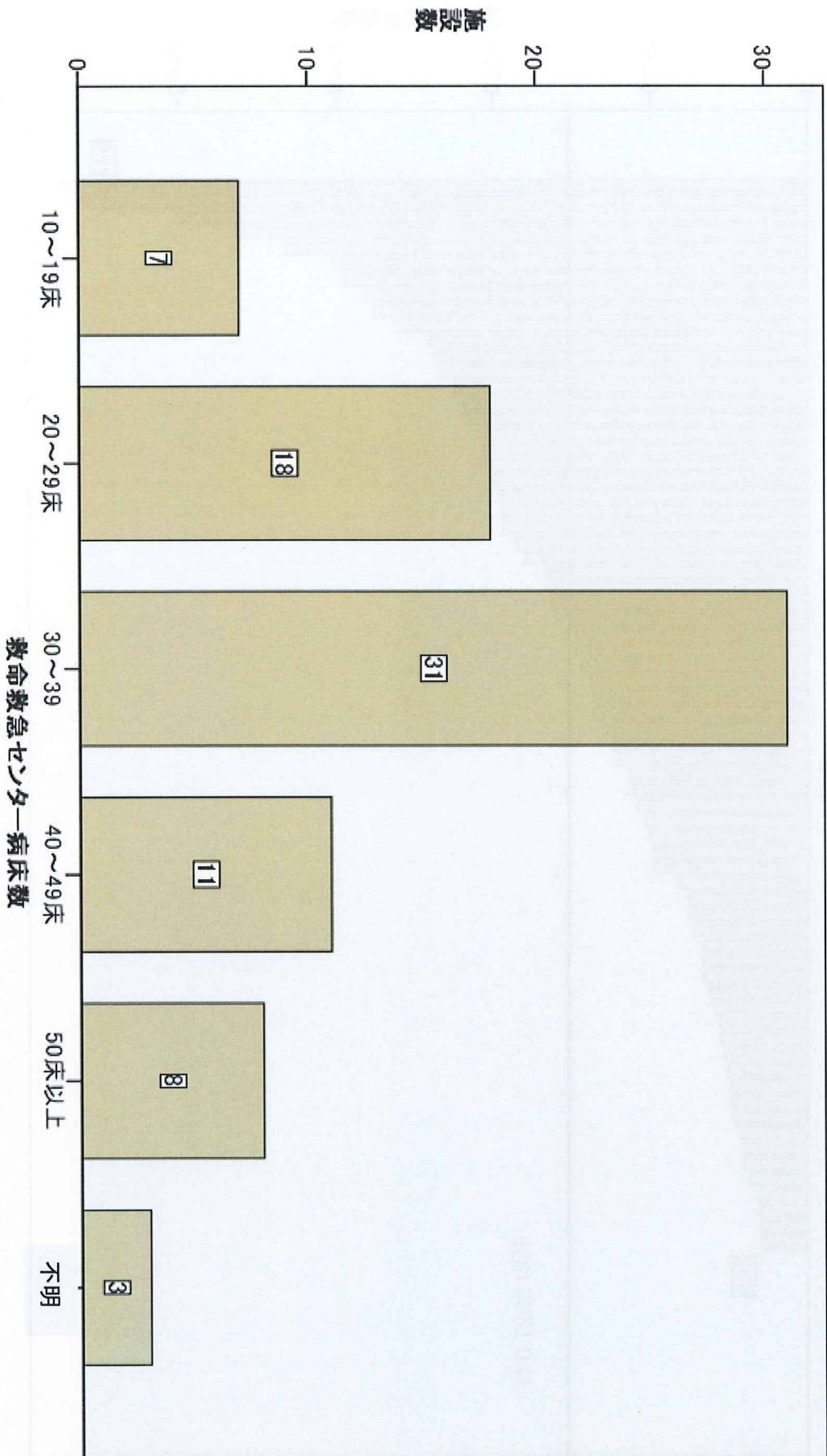


図25

施設別救急車受け入れ件数

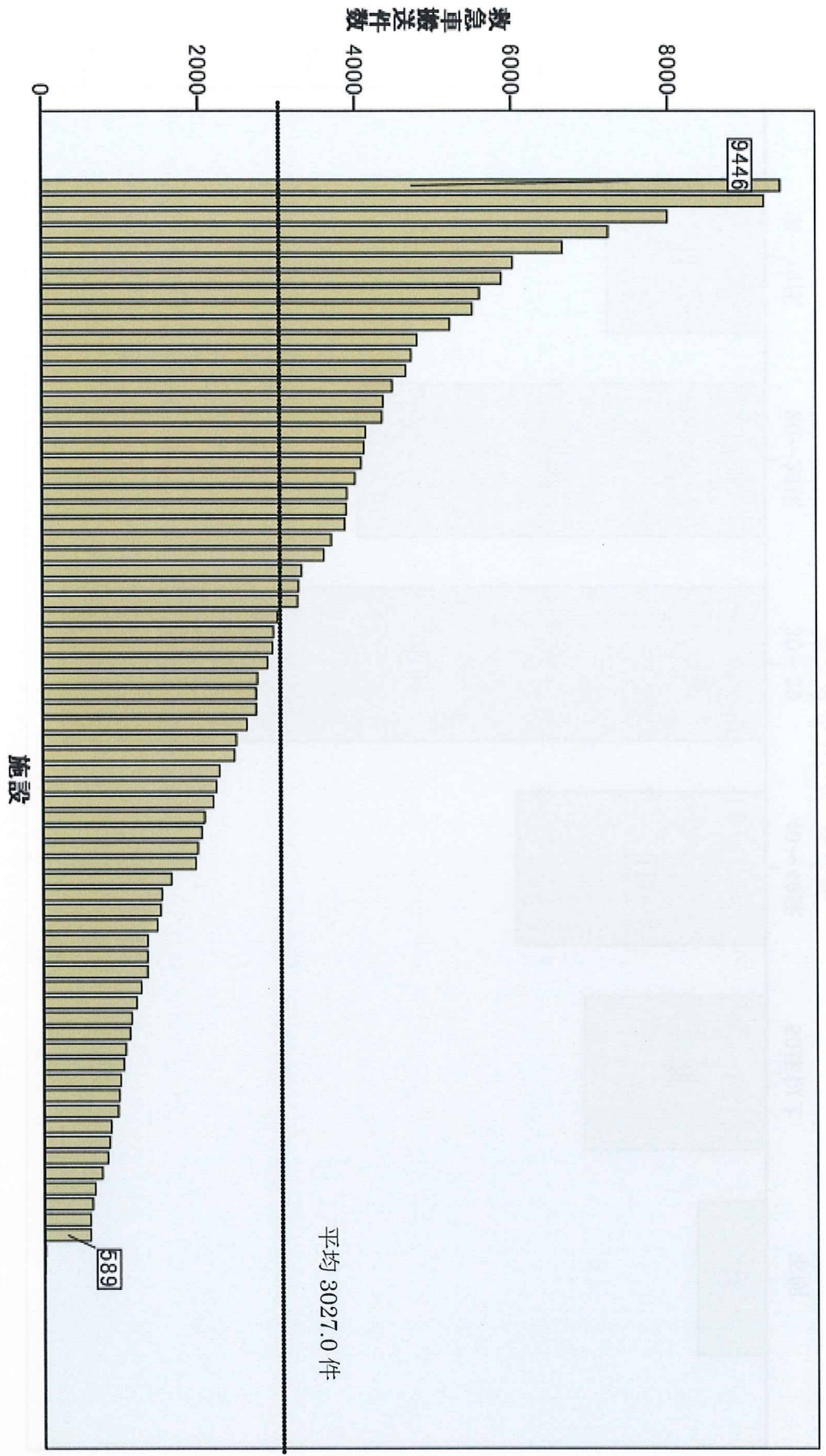


図26

救命救急センター年間入室患者数

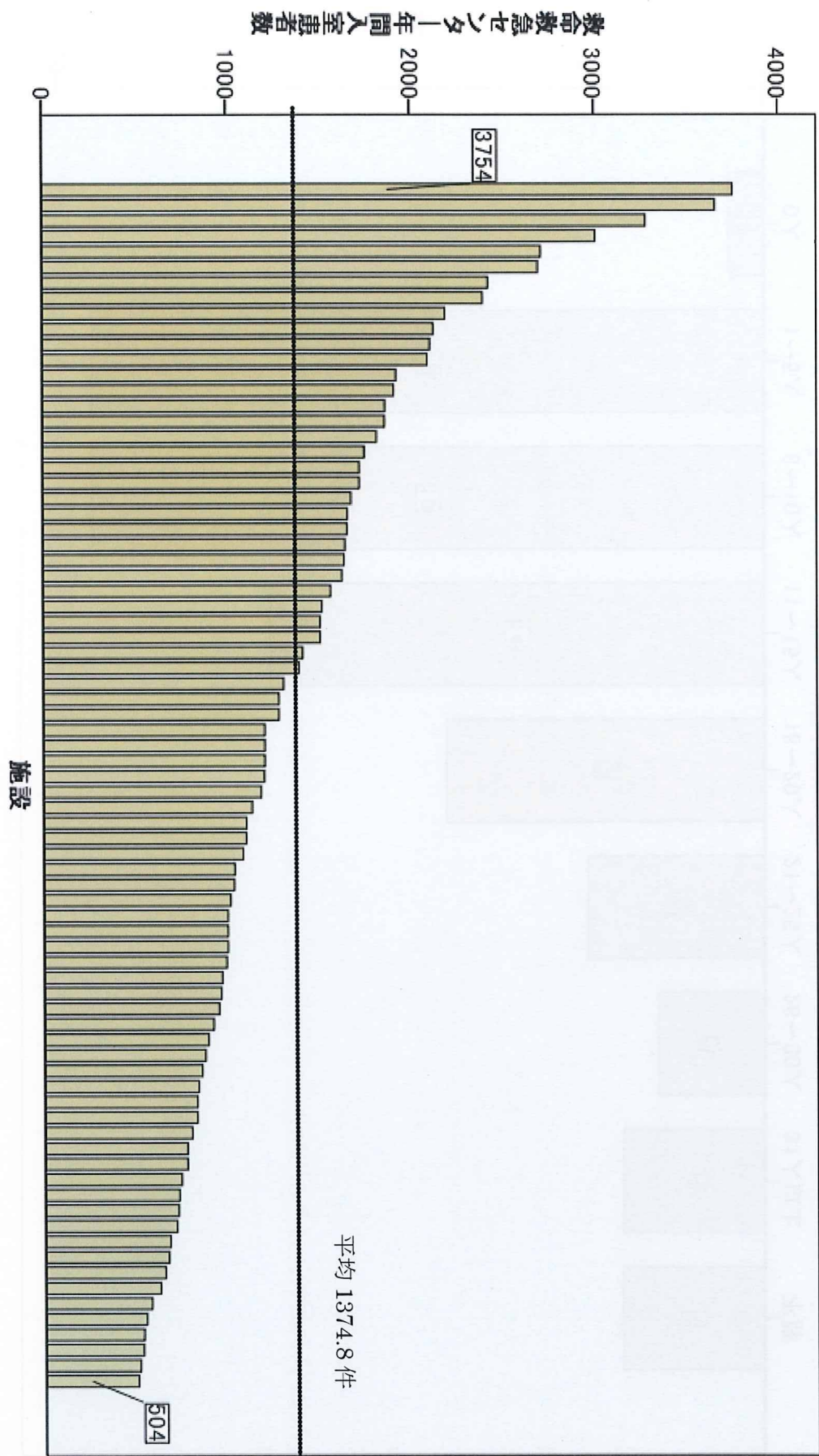


図27

専従医の人数

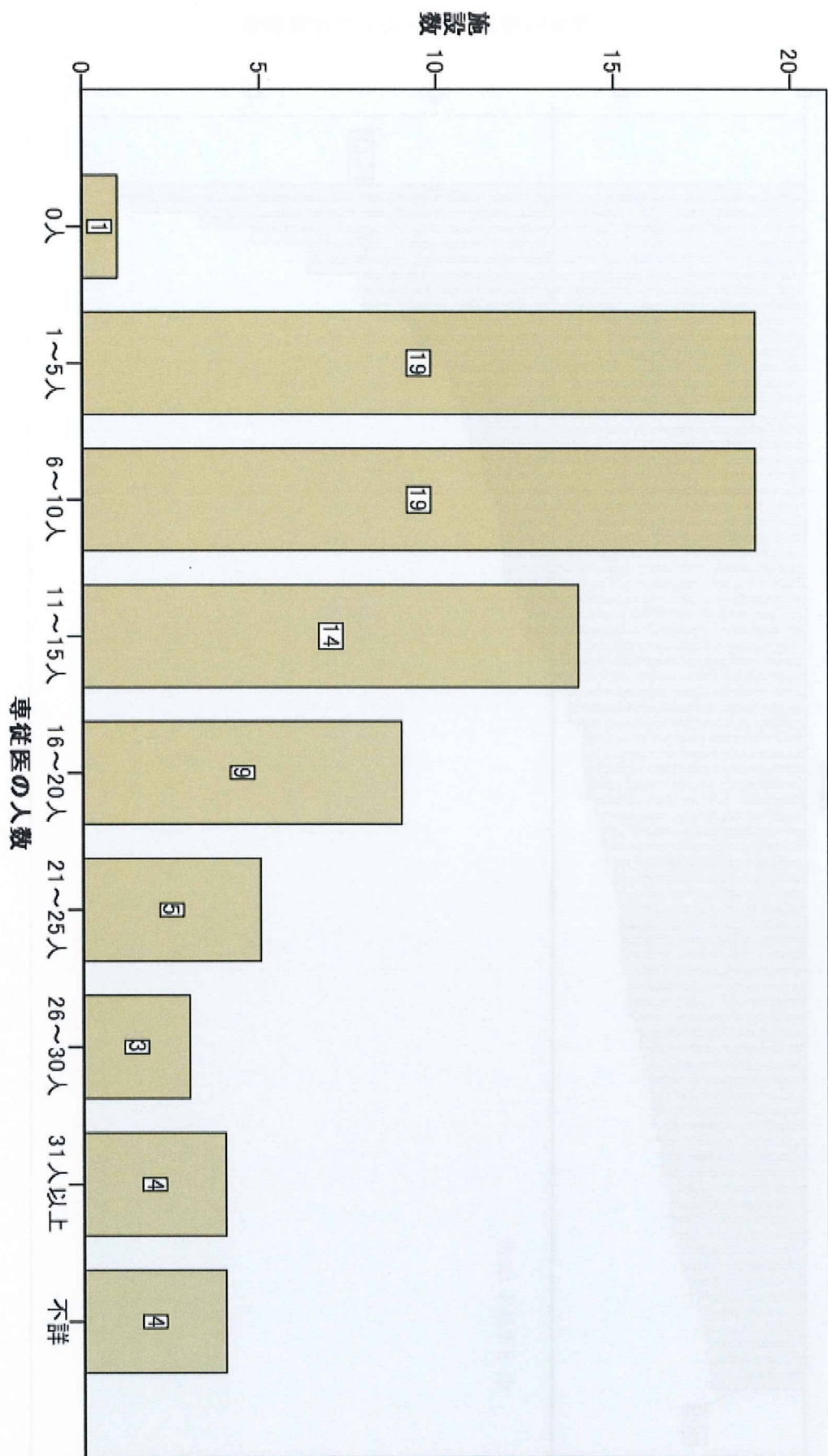


図28

救急科専門医の人数

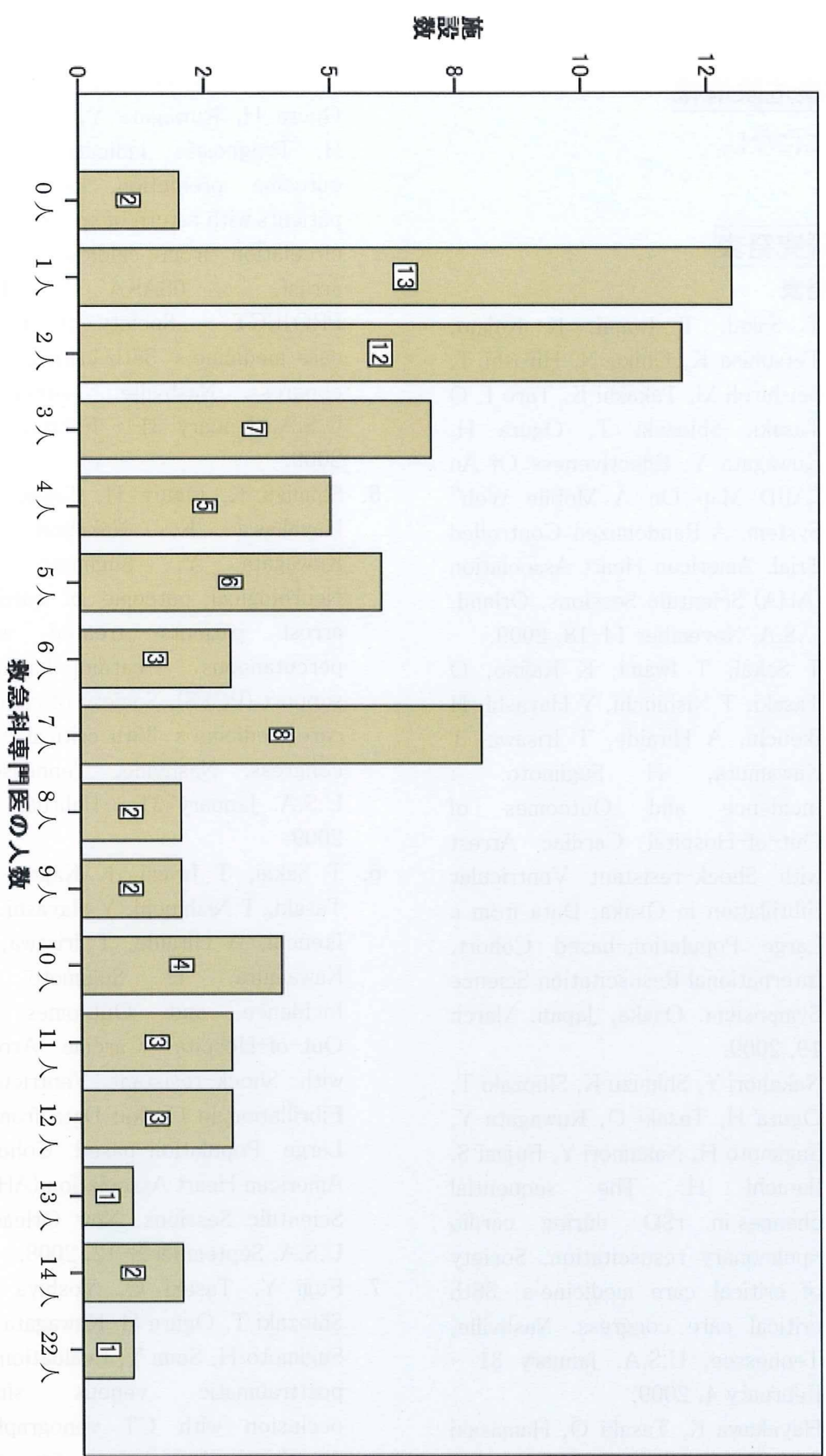


図29

F.健康危険情報

特にになし。

G. 研究発表

学会発表

1. T Sakai, T Iwami, K Kajino, Tetsuhisa K, Chika N, Hiroshi T, Seishiroh M, Takashi K, Taro I, O Tasaki, Shiozaki T, Ogura H, Kuwagata Y: Effectiveness Of An “AED Map On A Mobile Web” System: A Randomized Controlled Trial. American Heart Association (AHA) Scientific Sessions, Orland, U.S.A. November 14-18, 2009.
2. T Sakai, T Iwami, K Kajino, O Tasaki, T Nishiuchi, Y Hayashi, H Ikeuchi, A Hiraide, T Irisawa, T Kawamura, H Sugimoto. : Incidence and Outcomes of Out-of-Hospital Cardiac Arrest with Shock-resistant Ventricular Fibrillation in Osaka: Data from a Large Population-based Cohort. International Resuscitation Science Symposium. Osaka, Japan. March 19, 2009.
3. Nakahori Y, Shimizu K, Shiozaki T, Ogura H, Tasaki O, Kuwagata Y, Sugimoto H, Nakamori Y, Fujimi S, Ikeuchi H: The sequential changes in rSO₂ during cardio-pulmonary resuscitation. Society of critical care medicine`s 38th critical care congress. Nashville, Tennessee, U.S.A. January 31 - February 4, 2009.
4. Hayakawa K, Tasaki O, Hamasaki T, Kajino K, Shimizu K, Shiozaki T, Ogura H, Kuwagata Y, Sugimoto H: Prognostic indications and outcome prediction model for patients with return of spontaneous circulation from caldiopulmonary arrest. - OSAKA UTSTEIN PROJECT -. Society of critical care medicine`s 38th critical care congress. Nashville, Tennessee, U.S.A. January 31 - February 4, 2009.
5. Shimizu K, Ogura H, Tasaki O, Hayakawa K, Nakahori Y, Kuwagata Y, Sugimoto H: Neurological outcome of cardiac arrest patients treated with percutaneous cardiopulmonary support (PCPS). Society of critical care medicine`s 38th critical care congress. Nashville, Tennessee, U.S.A. January 31 - February 4, 2009.
6. T Sakai, T Iwami, K Kajino, O Tasaki, T Nishiuchi, Y Hayashi, H Ikeuchi, A Hiraide, T Irisawa, T Kawamura, H Sugimoto. : Incidence and Outcomes of Out-of-Hospital Cardiac Arrest with Shock-resistant Ventricular Fibrillation in Osaka: Data from a Large Population-based Cohort. American Heart Association (AHA) Scientific Sessions, New Orleans, U.S.A. September 8-12, 2008.
7. Fujii Y, Tasaki O, Yoshiya K, Shiozaki T, Ogura H, Kuwagata Y, Sugimoto H, Sumi Y: Evaluation of posttraumatic venous sinus occlusion with CT venography. American Association for the

- Surgery of Trauma 16th Meeting. Maui, Hawaii, U.S.A. September 24 - 27, 2008.
8. K Kajino, T Iwami, Robert A. Berg, O Tasaki, T Kawamura, H Nonogi, T Nishiuchi, Y Hayashi, H Ikeuchi, H Tanaka, Ti Shimazu, A Hiraide, H Sugimoto: Subsequent VF is Associated with Better Outcomes from Out-of-Hospital Cardiac Arrests with Initial Non-shockable Rhythms - population-based Utstein Study In Osaka, Japan. American Heart Association Scientific Sessions 2007. Orlando, U.S.A. Nov 3-7, 2007.
 9. K. Shimizu, Y. Oode, H. Ogura, A. Matsushima, O. Tasaki, T. Shiozaki, Y. Kuwagata, T. Shimazu, H. Sugimoto: Evaluation of abdominal blood flow during chest compression in cardiac arrest patients using enhanced computed tomography (CT). American Heart Association Scientific Sessions 2007. Orlando, U.S.A. Nov 3-7, 2007.
 10. 島崎淳也、塩崎忠彦、田崎修、小倉裕司、鋏方安行、杉本壽:救命救急センター13施設における入院症例予後調査. 第37回日本救急医学会総会. 2009年11月29~31日、盛岡.
 11. 入澤太郎、田崎修、塩崎忠彦、小倉裕司、鋏方安行、清水健太郎、中島和江: 大阪大学医学部附属病院における予期せぬ院内心肺停止症例に関する検討. 第37回日本救急医学会総会. 2009年11月29~31日、盛岡.
 12. 中堀泰賢、小倉裕司、山口芳裕、山田賢治、杉本壽: 母体救命の観点からみた周産期救急医療システムの再考~全国救命センターアンケート結果をもとに~. 第37回日本救急医学会総会. 2009年11月29~31日、盛岡.
 13. 島崎淳也、塩崎忠彦、田崎修、小倉裕司、鋏方安行、杉本壽:救命救急センター13施設における入院症例予後調査. 第12回日本臨床救急医学会. 2009年6月11~12日、大阪.
 14. 中堀泰賢、清水健太郎、塩崎忠彦、小倉裕司、田崎修、鋏方安行、杉本壽、毛利智好、中森靖、藤見聡: 心肺停止患者における蘇生前後の脳内酸素飽和度の変化について. 第22回日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会. 2009年6月26日、横浜.
 15. 田崎修、吉矢和久、松本直也、塩崎忠彦、小倉裕司、鋏方安行、杉本壽: 頭部外傷を伴う多発外傷の予後に関する検討. 第23回日本外傷学会総会. 2009年5月28~29日、大阪.
 16. 酒井智彦、石見拓、北村哲久、西山知佳、梶野健太郎、田中裕、丸川征四郎、田崎修、鋏方安行: AED マップ携帯版の使用効果に関する無作為化介入試験. 第37回日本救急医学会総会. 2009年11月29~31日、盛岡.
 17. 鶴飼勲、中川雄公、池側均、小倉裕司、鋏方安行: 直接搬送、ドクターヘリ、ドクターカー使い分けMAPの試作. 第16回日本航空医療学会総会. 2009年11月14日、岐阜.
 18. 中堀泰賢、小倉裕司、田崎修、塩崎忠彦、鋏方安行、杉本壽: 周

- 産期医療センターにおける救命救急との連携～重症妊産婦症例に対する取り組み～. 第 12 回 日本臨床救急医学会. 2009 年 6 月 11～12 日、大阪.
19. 酒井智彦、石見拓、梶野健太郎、林靖之、西内辰也、池内尚司、入澤太郎、田崎修、小倉裕司、鋤方安行、杉本壽: 非心原性院外心停止の原因別頻度と転帰. 第 12 回 日本臨床救急医学会. 2009 年 6 月 11～12 日、大阪.
 20. 中川 雄公、鵜飼 勲、吉矢和久、松本直也、早川航一、藤井良幸、酒井智彦、杉本 壽: 大阪府ドクターヘリを核とした院内災害体制の充実への取り組み. 第 12 回 日本臨床救急医学会. 2009 年 6 月 11～12 日、大阪.
 21. 入澤太郎、藤見聡、古藤行敏、納谷等史、横田順一郎、鵜飼勲、中川雄公、杉本壽: 災害時アクションカードを用いた災害拠点病院の院内情報伝達訓練の検討. 第 14 回 日本集団災害医療学会総会. 2009 年 2 月 12～14 日、神戸.
 22. 入澤太郎、清水健太郎、田崎修、杉本壽、高橋りょう子、藤本裕二、中島和江: 大阪大学医学部附属病院における、院内発症の心肺停止症例に関する検討. 第 1 回 日本医療教授システム学会総会 2009 年 2 月 20～21 日、東京.
 23. 松嶋麻子、塩崎忠彦、井上貴昭、清水健太郎、小倉裕司、鋤方安行、杉本壽: 蘇生後低酸素脳症に対する病態解明. 第 21 回日本脳死・脳蘇生学会 総会・学術集会. 2008 年 5 月 8,9 日、大阪
 24. 鵜飼勲、杉本 壽: 救急医を中心とするチーム医療による集学的治療. 第 22 回日本外傷学会. 2008 年 5 月 28-29 日、沖縄
 25. 酒井 智彦、石見 拓、梶野 健太郎、西内 辰也、林 靖之、池内尚司、田崎 修、鋤方 安行、杉本 壽: 窒息による院外心停止症例の実態. 第 11 回日本臨床救急医学会. 2008 年 6 月 7—8 日、東京
 26. 酒井 智彦、石見 拓、梶野 健太郎、田崎 修、杉本 壽: 難治性院外心室細動症例の発生状況と転帰の推移. 第 36 回 日本救急医学会総会・学術集会. 2008 年 10 月 13—15 日、札幌
 27. 鵜飼勲、中川雄公 吉矢和久 城戸靖章 森久保裕 新開裕幸 杉本壽: ドクターヘリを用いた DMAT 出動計画の策定. 第 15 回日本航空医療学会総会. 2008 年 11 月 15 日、松江
 28. 松嶋麻子、田中裕、新開裕幸、加藤有美、梶野健太郎、清水健太郎、田崎修、京力深穂、嶋津岳士、杉本壽. 救急外来における外来初療記録システムを用いたチームワーク・危機管理. 平成 19 年度国公立大学附属病院リスクマネージャー研修. 2007 年 5 月 8-10. 吹田市.
 29. 田崎修、塩崎忠彦、中江晴彦、梶野健太郎、田中裕、嶋津岳士、杉本壽. 重症頭部外傷に対する治療および予後不良因子に関する検討. 第 21 回日本外傷学会. 2007 年 5 月 24-25. 千葉
 30. 梶野健太郎、石見 拓、平出 敦、池内尚司、川村 孝、西内達也、林 靖之、田崎修、田中 裕、嶋津岳士、杉本 壽. 初期心電図で PEA/Asystole を認めた院外心原

性心停止症例の検討～ウツタイン大阪プロジェクトより～(蘇生中にV Fに移行した症例の転帰について)。第22回日本救命医療学会総会。2007年9月14-15。大阪市。

31. 梶野健太郎、田中裕、石見拓、平出敦、西本泰久、杉本壽。PAD (Public Access Defibrillation)を有効に機能させる為の包括的な取り組み-救命都市おおさか戦略より-。第35回日本救急医学会総会。2007年10月16-18。大阪市。
32. 梶野健太郎、石見拓、平出敦、池内尚司、川村孝、西内達也、林靖之、田崎修、田中裕、嶋津岳士、杉本壽。初期心電図でPEA/Asystoleを認めた院外心原性心停止症例の検討～ウツタイン大阪プロジェクトより～(蘇生中にV Fに移行した症例の転帰について)。第35回日本救急医学会総会。2007年10月16-18。大阪市。
33. 蘇生後脳症に対する低体温療法の適応に関する検討—ウツタイン大阪プロジェクトより—。早川航一、田崎修、梶野健太郎、松嶋麻子、松本直也、塩崎忠彦、小倉裕司、鋳方安行、嶋津岳士、杉本壽、石見拓、西内達也、林靖之、池内尚司。第35回日本救急医学会総会。2007年10月16-18。大阪市。
34. 中川雄公、嶋津岳士、早川航一、梶野健太郎、中江晴彦、鶴飼勲、池側均、田中裕、杉本壽。大阪府ドクターヘリ導入前の需要予測とその検討。第14回日本航空医療学会。2007年11月30-12月1日。千葉。
35. 大阪府ドクターヘリの高速道路上での運用予測に関する検討。中川

雄公、嶋津岳士、早川航一、梶野健太郎、中江晴彦、鶴飼勲、池側均、杉本壽。第2回病院前救急診療研究会。2007年12月7日。東京。

H.知的所有権の取得状況

- | | |
|----------|----|
| 1.特許取得 | なし |
| 2.実用新案特許 | なし |
| 3.その他 | なし |

